研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) 松村久男, 飯田美奈子, 金子将, 高島晃, 中村友則, 齋藤博, 藤原邦彦, 松田佳和、超音波懸濁法による錠剤の経管栄養チューブ投与, 日本薬科大学教育紀要, 2, 69-76 (2015)
- 2) 藤原 邦彦, 松浦 誠, 千葉 健史, 佐古 兼一, 藤澤 美穂, 前田 智司, 日本薬科大学における薬学長期実務実習でのストレス調査, 薬学教育, 1 (2017)

[総説]

- 1) 藤原邦彦：6年制薬学教育における長期実務実習の評価－岩手医科大学薬学部学生へのアンケート結果からの解析－, 埼玉県薬剤師会雑誌, 39(8), 17-20 (2013) .

[著書]

- 1) 藤原邦彦 (分担), 個別化家用を目指した臨床薬物動態学, 廣川書店, 175-194 (2016).
- 2) 藤原邦彦 (分担): NEO 薬学シリーズ 6『薬学生のための実務実習事前学習テキスト (改訂 2 版)』、土屋雅男編集、ネオメディカル、215-233, 2018

[その他]

- 1) 藤原邦彦、松田佳和、鈴木勝宏、中村有貴：埼玉県、埼玉県薬剤師会：平成 26 年度厚生労働省委託事業（薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業） 高齢者の薬の飲み残し対策事業調査結果報告書 (2014) .

2. 主な学会発表

[国内学会]

- 1) 藤原邦彦、上原佑介、中村有貴、鈴木勝宏、松田佳和、境愛美、斉藤祐次、鯉淵肇、謝村錦芳:保健薬剤師の患者宅訪問による残薬実態調査及び残薬削減に及ぼす薬剤師関与の影響 日本薬学会第 135 年会, 3 月, 神戸 (2015)
- 2) 松村久男, 中村友則, 飯田美奈子, 高島晃, 藤原邦彦, 松田佳和, 超音波懸濁法による固形薬剤の崩壊懸濁性と経管栄養チューブ通過性に関する研究 4, 埼玉医療薬学懇話会第 35 回学術研究発表会, 7 月, さいたま(2015).
- 3) 高島晃, 松村久男, 飯田美奈子, 中村友則, 齋藤博, 藤原邦彦, 松田佳和, 超音波懸濁法による固形薬剤の崩壊懸濁性と薬剤安定性に関する研究 4, 日本病院薬剤師会関東ブロック第 45 回学術大会, 8 月, つくば(2015).
- 4) 松村久男, 飯田美奈子, 高島晃, 中村友則, 齋藤博, 藤原邦彦, 松田佳和, 超音波懸濁法による固形薬剤の経管栄養チューブ通過性および閉塞性に関する研究 5, 第 48 回日本薬剤師会学術大会, 11 月, 鹿児島(2015)
- 5) 斉藤祐次, 芳澤正士, 畑中典子, 宮野廣美, 松島喜久夫, 齊田征弘, 池田里江子, 鯉淵 肇, 藤原邦彦 , 謝村錦芳, 高齢者等の薬の飲み残し対策事業の実施結果について, 第 48 回日本薬剤師会学術大会、11 月、鹿児島.
- 6) 藤原邦彦 , 大月沙耶香, 中村有貴, 鈴木勝宏, 松田佳和, 境 愛美, 芳澤正士, 宮野廣美, 松島喜久夫, 齊田征弘, 畑中典子, 池田里江子, 黒澤 章, 斉藤祐次, 鯉淵 肇, 謝村錦芳, 在宅患者の服薬状況及び

QOL 向上に及ぼす保険薬剤師による患者宅訪問指導の影響, 日本薬学会第 136 年会, 3 月, 横浜 (2016).

- 7) 藤原邦彦、佐古兼一、中村有貴、齋藤博、有富桂子、稲瀬實、松田佳和、都築稔、**薬学生における医療の担い手としての薬剤師職能の認識度に関する調査**, 日本薬学教育学会, 8 月, 京都(2016).
- 8) 藤原邦彦、長澤円佳、福田哲夫、加藤隆, アルゴリズムによる来局者症候に対応した OTC 医薬品選択のためのコンピュータシステム「問診ナビ®」の開発に関する検討, 第 137 回日本薬学会年会, 3 月, 仙台(2017).
- 9) 第 35 回・ミャンマー・セダ東京交流会講演「セルフメディケーション推進の背景とアルゴリズムによるシステム開発」、1 月 (2017)
- 10) 藤原邦彦、長澤円佳、影山雄亮、加藤愛梨、福田哲夫、加藤隆, アルゴリズムによる来局者症候に対応した OTC 医薬品選択のためのコンピュータシステム「問診ナビ®」の検討, 第 11 回日本薬局学会学術総会, 11 月, 大宮 (2017)

3. その他特筆すべき研究業績

II. 教育業績

1. 担当授業科目

- 1) 2017 年度：実務事前学習 (3 年、2 コマ)、薬剤学Ⅱ(4 年)、一般用医薬品学 (5 年)、POS 実践論(6 年)
- 2) 2016 年度：薬剤学Ⅱ(4 年)、一般用医薬品学 (5 年)、POS 実践論(6 年)
- 3) 2015 年度：薬剤学Ⅱ(4 年)、臨床薬物動態学 (5 年)、POS 実践論(6 年)
- 4) 2014 年度：薬剤学Ⅱ(4 年)、臨床薬物動態学 (5 年)、POS 実践論(6 年)
- 5) 2013 年度：臨床検査学(3 年)、臨床薬物動態学 (5 年)、POS 実践論(6 年)

2. その他特筆すべき教育業績

- 1) 藤原邦彦, 病院の薬とドラッグストアの薬, 翔洋学園高等学校水戸学習センター, 10 月, 水戸 (2017)
- 2) 藤原邦彦, くすりを知ろう, 東京成徳大学中学・高等学校, 11 月, 東京 (2017)